

ライオン株式会社と
包括連携協定を締結

1月24日、ライオン株式会社と、包括的連携に関する協定を締結しました。これは、地域社会の発展および市民の口腔健康の実現を目的としたものです。いつまでも健康な生活を送るためには、口腔ケアが重要と言われています。本協定に基づき、デジタルを活用した口腔ケア習慣の定着を促すサービスなどを通じて、市民の口腔ケア意識の向上に関する活動を展開していきます。



左から、荒木市長、ライオン株式会社 久米裕康取締役

牛乳の消費拡大に向けて
熊本酪農業協同組合が牛乳を寄贈

1月6日、熊本酪農業協同組合が市へ牛乳(LL製品250ml×1,200個)を寄贈しました。新型コロナウイルスの影響などにより需要が低迷し、牛乳の消費が減る冬に特に厳しい状況となる中、消費拡大に向けた取り組みの一環として実施したものです。寄贈された牛乳は、1月9日に開催された、市民健康カントリーマラソン大会の参加者や、消防団へ配布しました。



左から、荒木市長、衛藤彰一組合長

日本公衆電話会が子ども手帳と
ネット安全ガイドブックを寄贈

12月16日、市役所で、公益財団法人日本公衆電話会熊本支部長の本田秀昭さんが、市教育委員会へ子ども手帳などを寄贈しました。これは同法人が地域の安全・安心への貢献活動として実施するものです。教育長は「校長会で紹介し、小学5・6年生には子ども手帳を、中学生にはネット安全ガイドブックを配布し、学校で活用していきます」とお礼を述べました。



左から、中島教育長、本田熊本支部長

みずき台区のイメージキャラクター
“ミズッキー”が誕生

10月28日、みずき台区でイメージキャラクターを決定する選挙を実施し、33点の応募から“ミズッキー”が決定しました。これは、区の魅力や特性を近隣住民に発信し、イメージアップを図ることを目的に作成したものです。今回作成したキャラクターは、防犯パトロールの帽子などに活用されます。村上香織区長は「世代を問わず親しみが持てる区のシンボルとして育てていきたい」と話しました。



みずき台区イメージキャラクターの“ミズッキー”

市の農業を担う若者たちを激励
就農奨励金交付式

1月28日、新規就農者への激励を兼ねて就農奨励金交付式を行い、市内新規就農者4人に奨励金目録を交付しました。式では新規就農者が「新型コロナウイルスの影響による飼料の高騰などで経営にダメージはあるがピンチをチャンスに変えていきたい」「農業は体資本でもあるため、健康面や怪我に気を付けて営農していきたい」などといった今後の抱負や決意を語りました。



私たちが市農業の担い手です(前列)

どんぐり文庫が
厚生労働大臣表彰を受賞

1月12日、市役所で、どんぐり文庫へボランティア功労者に対する厚生労働大臣表彰の伝達式を行いました。これは、福祉分野のボランティア活動を長年行なっている功績が特に顕著であると称えられて受賞したものです。同団体は、地域に開かれた文庫として、市民の皆さんへの本の貸し出しや読み聞かせ、紙芝居や人形劇など、利用者のニーズに合わせた幅広い活動を続けています。



左から荒木市長、坂本茂子代表、会計の岡本章子さん

県中学生空手道新人大会 男子形の部
力強いキレのある演武で優勝

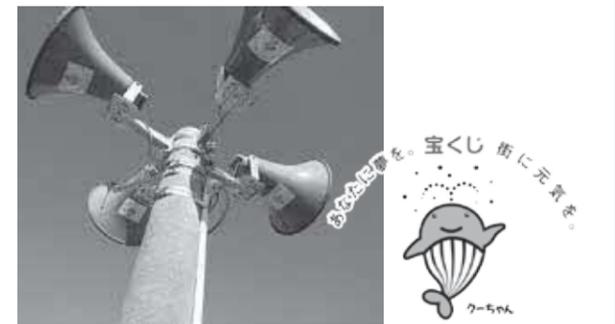
12月19日、熊本市文徳高校体育館で熊本県中学生空手道新人大会が開催され、中学1年男子形の部で木村道場に通う大場悠太さん(西合志中1年)が優勝という見事な成績を収めました。優勝者は、3月28日から京都府で行なわれる全国大会に県代表として出場します。大場さんは「全国大会出場が決まりうれしい。応援してくれる人たちのためにも精一杯頑張りたい」と意気込みを語りました。



木村道場は週に2回、野々島市民センターで練習しています

東区が宝くじを財源とした助成事業で
コミュニティ無線放送システムを整備

11月26日、東区にコミュニティ無線放送システムを整備しました。これは、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としたコミュニティ助成事業によるものです。この事業は、(一財)自治総合センターが、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源に実施しており、今後東区のみずき台区の発展が期待されます。



東区が整備したコミュニティ無線放送システム